

調 査 実 施 の 概 要

1 アンケートテーマ

「東京におけるペットの飼育」

2 アンケート目的

東京におけるペットの飼育について聴き、「東京都動物愛護管理推進計画」策定の参考とする

3 アンケート期間

平成 18 年 10 月 20 日（金）18:00 から平成 18 年 10 月 26 日（木）18:00 まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する

5 インターネット都政モニター数

5 0 0 人

（インターネット都政モニターは満 20 歳以上の都民を対象に年度ごとに公募）

6 回答者数

4 8 3 人

7 回答率

9 6 . 6 %

「東京におけるペットの飼育」

1 調査項目

- Q 1 居住形態
- Q 2 ペットの飼育状況
- Q 3 ペットの種類
- Q 4 ペット飼育の意向
- Q 5 ペットを飼いたいと「思う」理由
- Q 6 ペットを巡るトラブル
- Q 7 ペットを巡るトラブルの解決策
- Q 8 飼い犬による被害対策
- Q 9 「飼い主のいない猫」対策への参加意向
- Q 10 「飼い主のいない猫」問題の解決策
- Q 11 集合住宅におけるペット飼育の是非
- Q 12 ペット業者に望むこと
- Q 13 都が取り組むべきペット対策
- Q 14 東京におけるペットの飼育に関する意見(自由記述)

2 アンケート回答者属性

カテゴリー名		n	%
全 体		483	100.0
性 別	男 性	241	49.9
	女 性	242	50.1
年 代	20 代	86	17.8
	30 代	107	22.2
	40 代	84	17.4
	50 代	85	17.6
	60 歳以上	121	25.1
職 業	自営業	34	7.0
	常 勤	161	33.3
	パート・アルバイト	53	11.0
	主 婦	145	30.0
	学 生	20	4.1
	無 職	70	14.5
居住地域	区 部	329	68.1
	市町村部	154	31.9

※集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

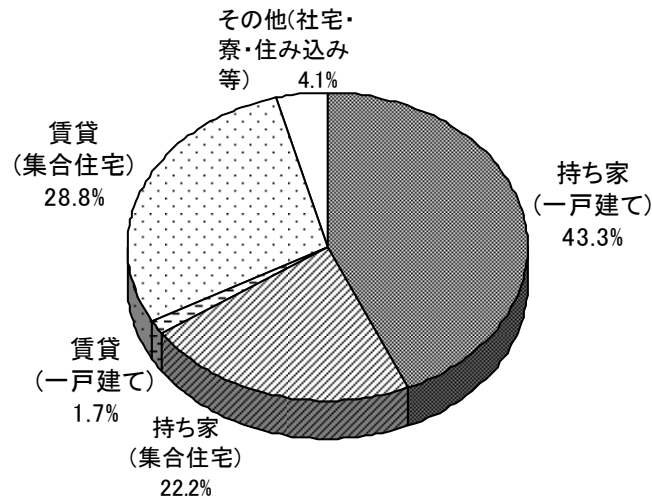
※回答方法・・(MA=いくつでも選択、2MA=2つまで選択、3MA=3つまで選択)

調 査 結 果

居住形態

Q 1 あなたのお住まいの居住形態について、お聞きします。あなたのお住まいの居住形態に該当するものを、次の中から1つ選んでください。

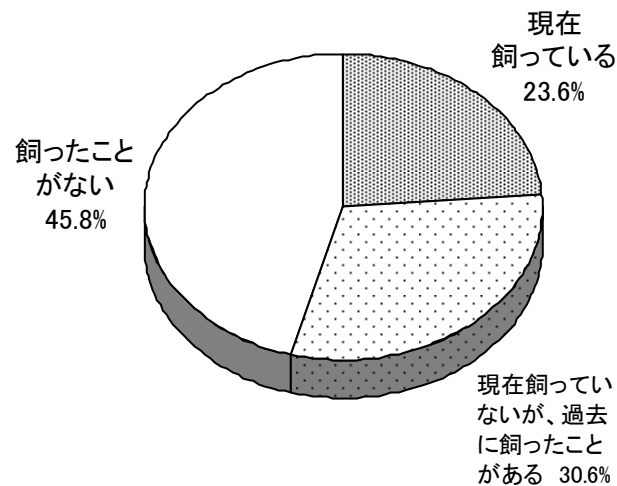
(n = 483)



ペットの飼育状況

Q 2 あなたは、この10年間でペットを飼ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 483)

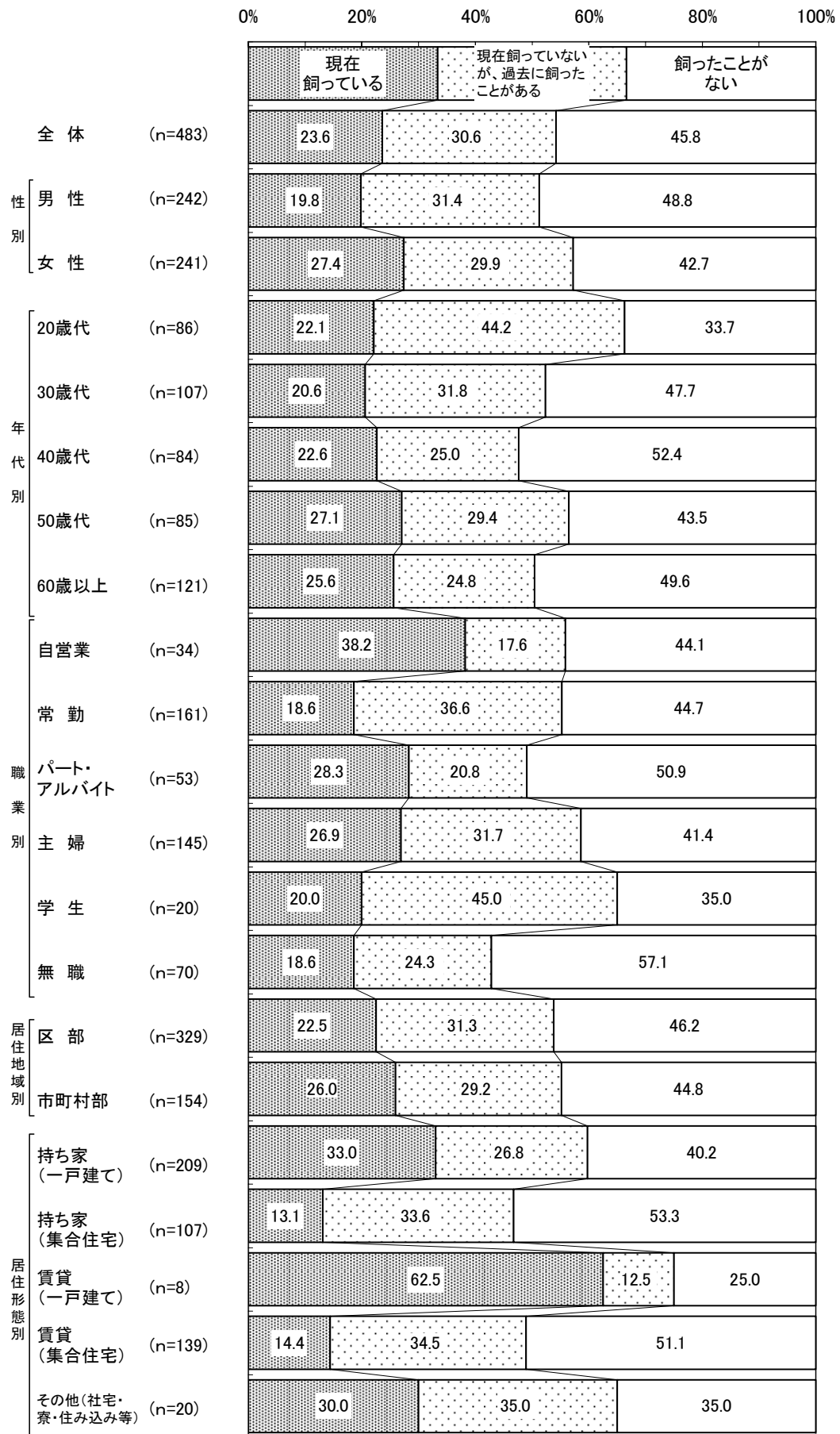


(参考) 平成12年度都政モニターアンケート「ペットの飼育について」(n = 474)

問1 あなたは、現在、ペットを飼っていますか

- ・ 飼っている 23.0%
- ・ 飼っていない 77.0%

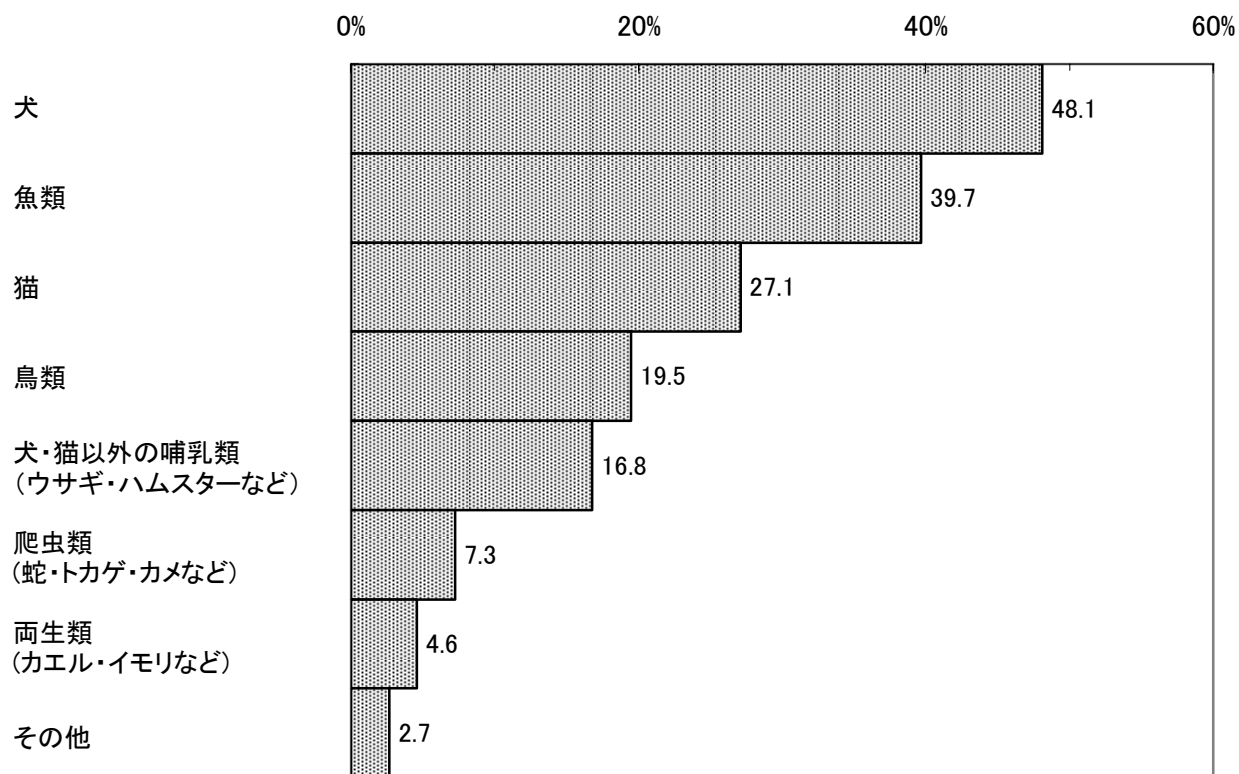
＜ペットの飼育状況・・・属性別＞



ペットの種類

Q3 Q2で「現在飼っている」と「現在飼っていないが、過去に飼ったことがある」と答えた方にお聞きします。あなたが「現在飼っている」または「現在飼っていないが、過去に飼ったことがある」ペットは何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(MA) (n = 262)



●現在、犬、猫を飼っている人の飼育頭数

○犬（現在、飼っている人 49人）

1頭 43人
2頭 5人
3頭以上 1人

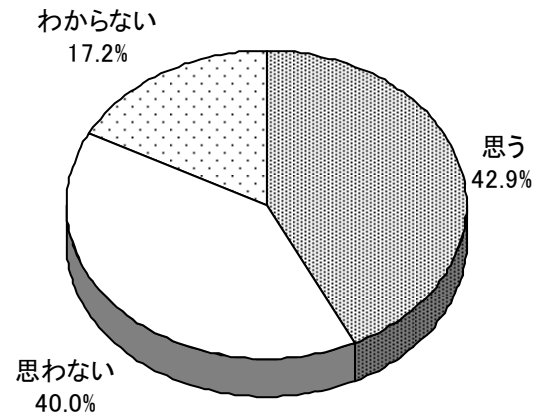
○猫（現在、飼っている人 30人）

1頭 22人
2頭 4人
3頭以上 4人

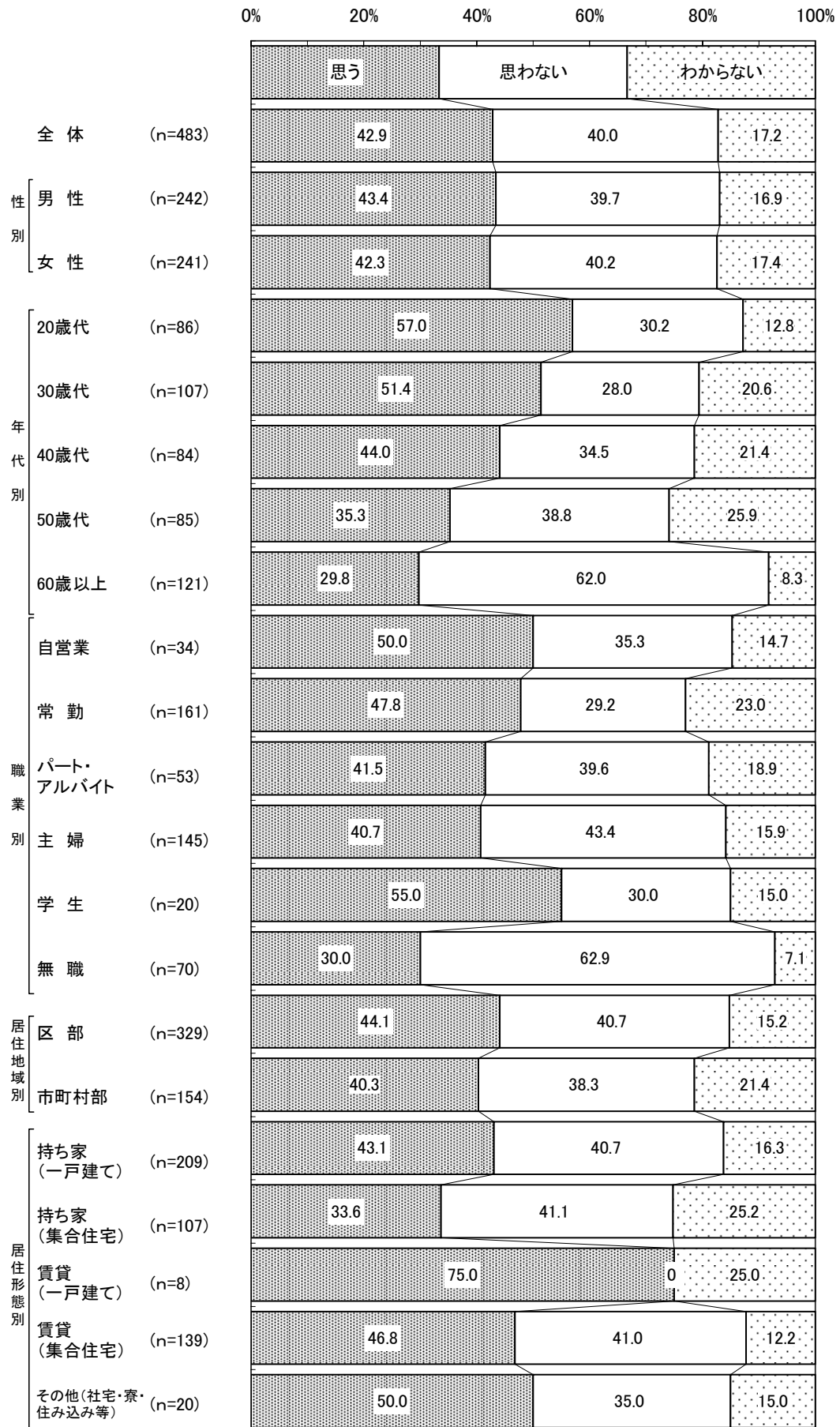
ペット飼育の意向

Q 4 あなたは、今後、ペットを飼いたい、または、飼い続けたいと思いますか。次の中から 1 つ選んでください。

(n = 4 8 3)



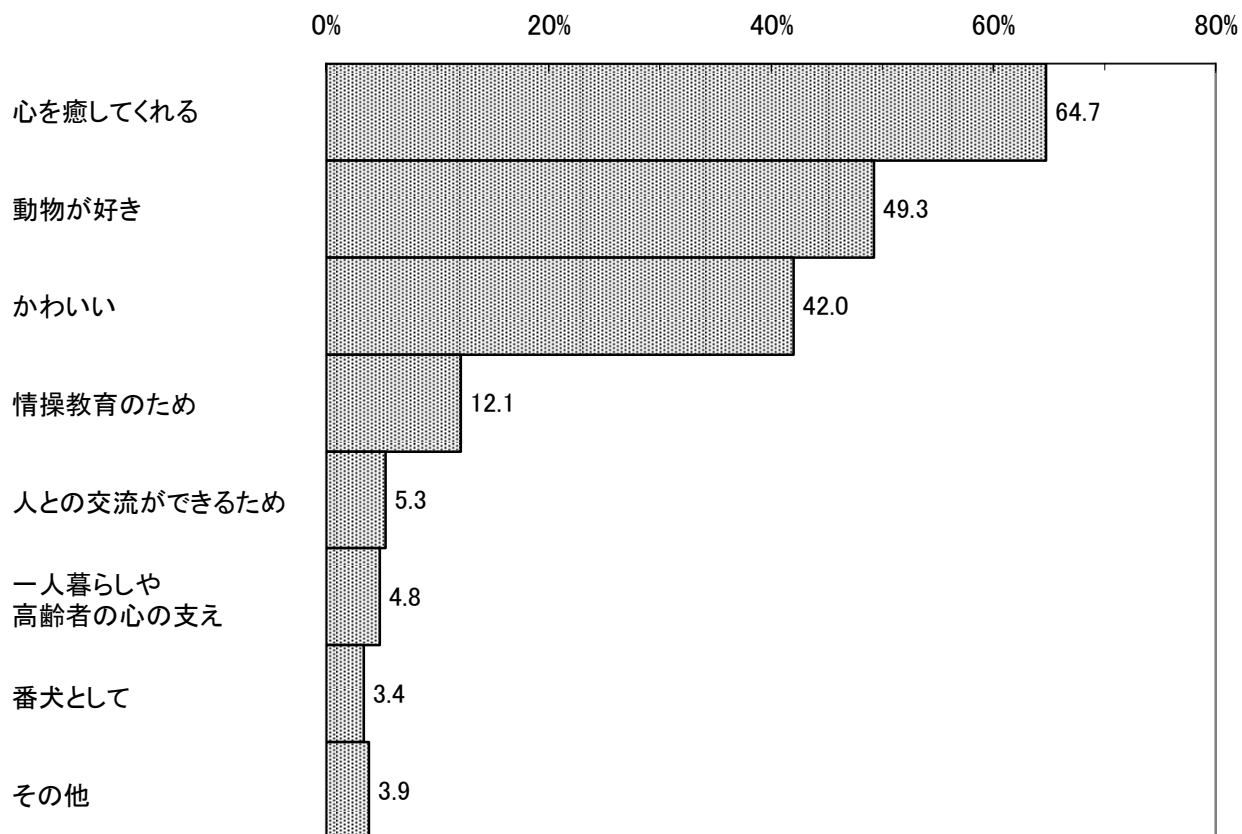
<ペットの飼育意向・・・属性別>



ペットを飼いたいと「思う」理由

Q 5 Q 4で「思う」と答えた方にお聞きします。飼いたいと思う理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

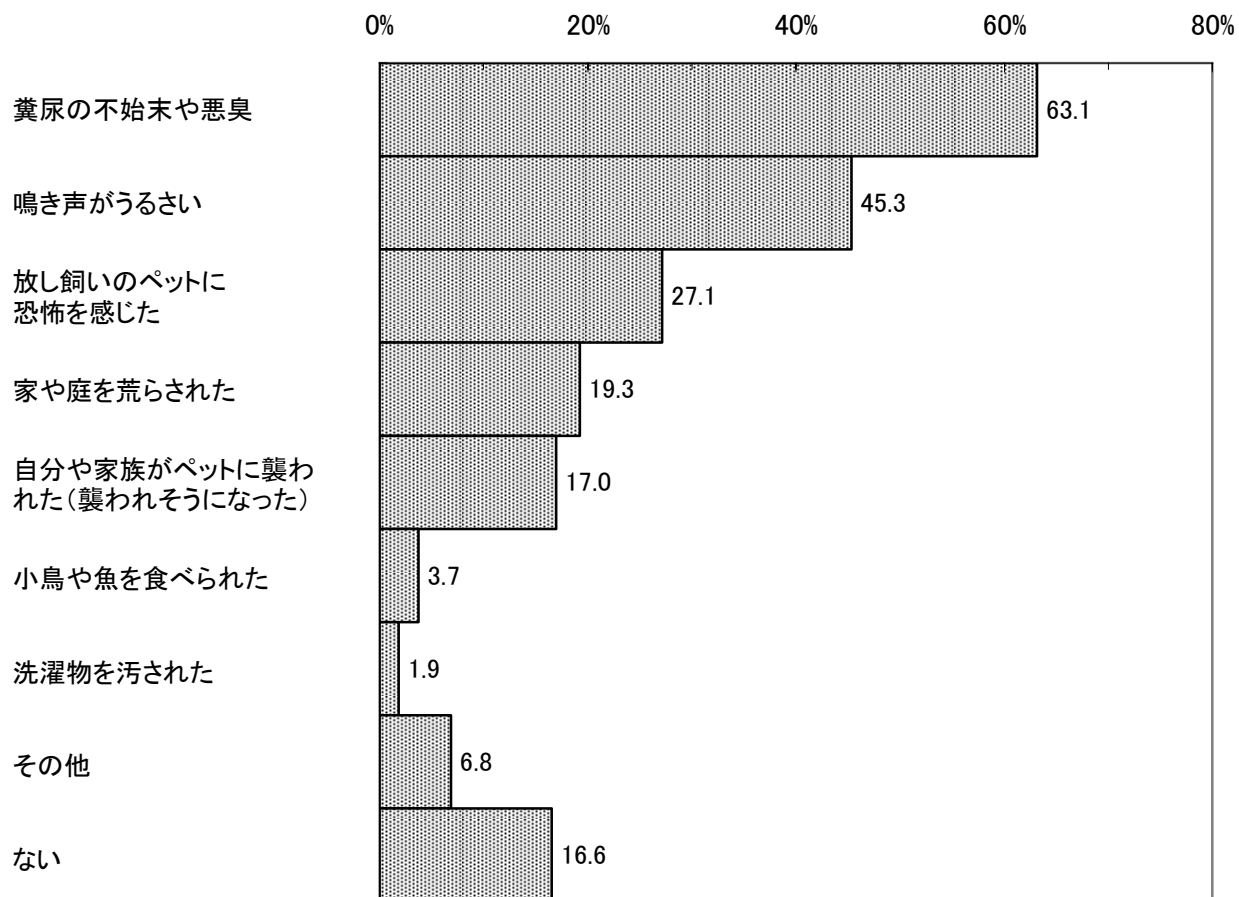
(2MA) (n = 207)



ペットを巡るトラブル

Q 6 あなたは、他人のペットが原因で、迷惑や被害を受けたことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

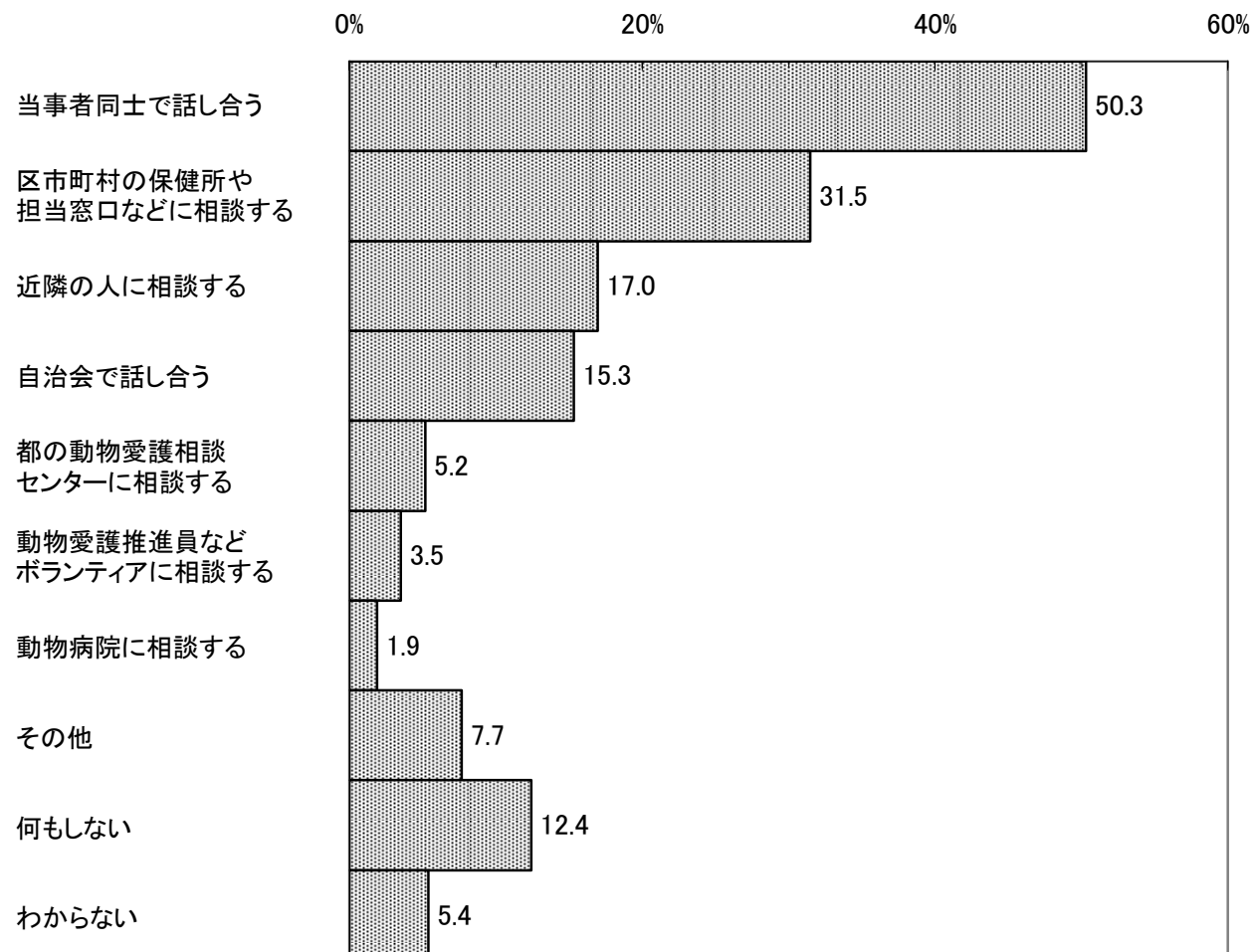
(MA) (n = 483)



ペットを巡るトラブルの解決策

Q 7 他人のペットが原因で、被害や迷惑を受けた場合、まず、あなたは、どのように対処しようと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

(2MA) (n = 483)

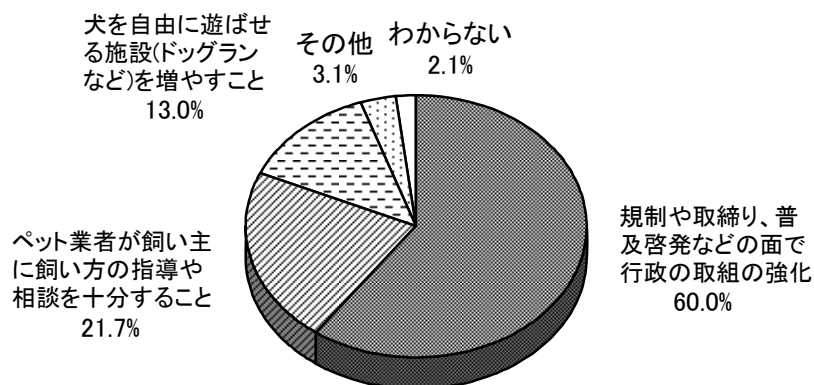


飼い犬による被害対策

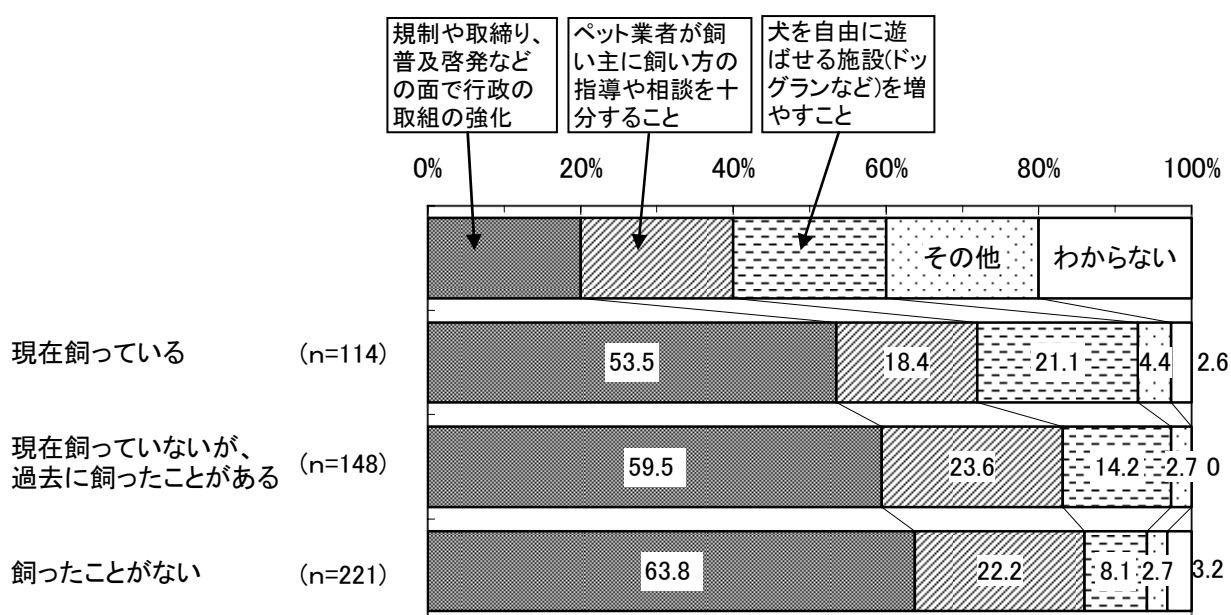
Q 8 犬の放し飼いにより、犬が人を咬んだり、犬に驚いて人が転倒したりしてケガをするなどの事故が発生することがあります。このような問題が発生するのは、飼い主のしつけ方が不十分であったり、法令を知らなかったりするなどに起因するものと思われます。

このための対策としてどのようにすればよいか、あなたの考え方に最も近いものを、次の中から1つ選んでください。

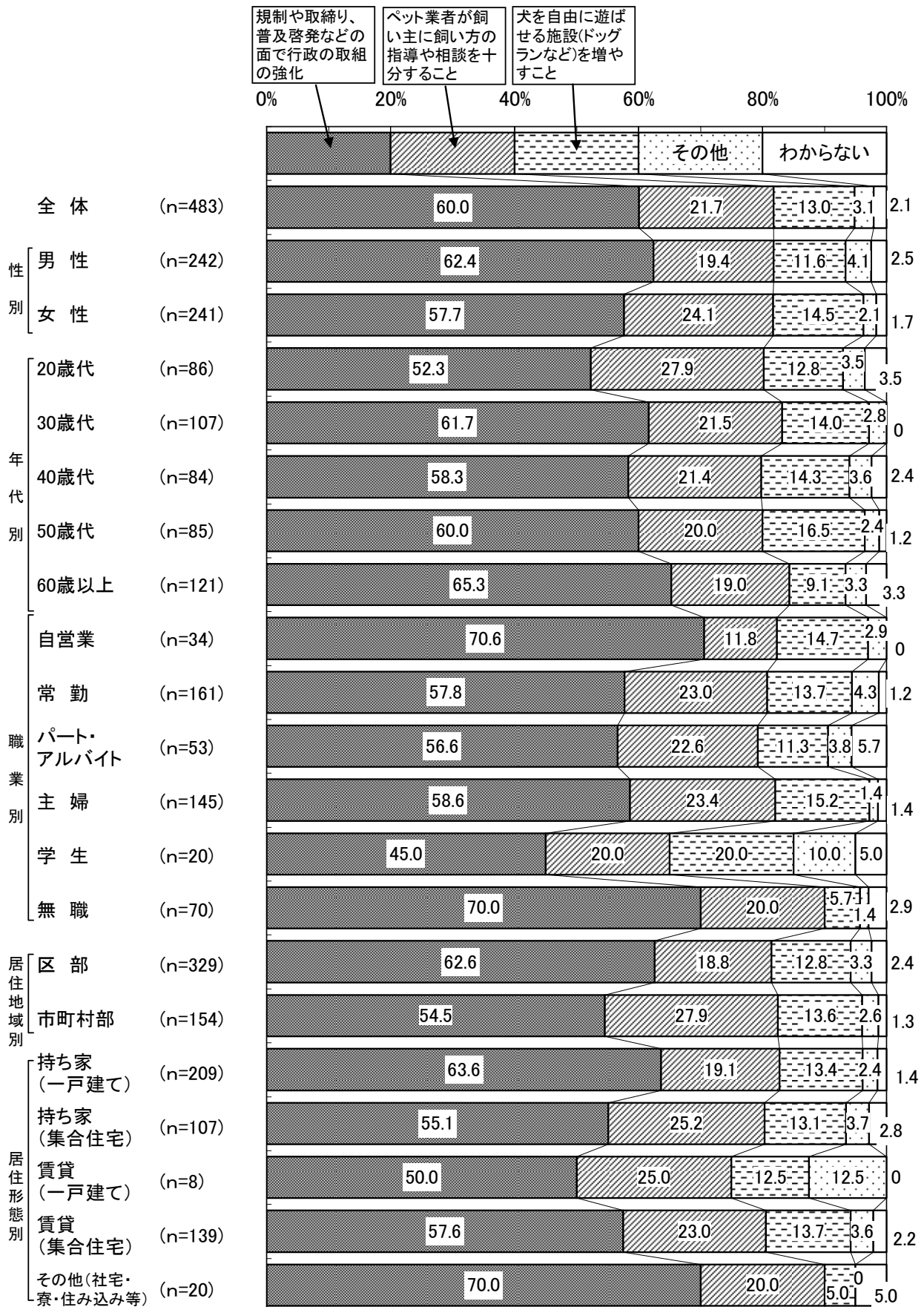
(n = 483)



<飼い犬による被害対策・・・ペットの飼育状況別>



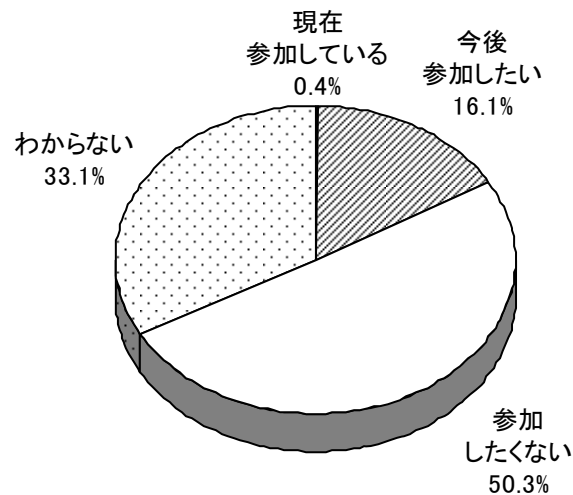
＜飼い犬による被害対策・・・属性別＞



「飼い主がいない猫」対策への参加意向

Q 9 あなたは、地域の住民自らが行う「飼い主のいない猫」対策に参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 483)

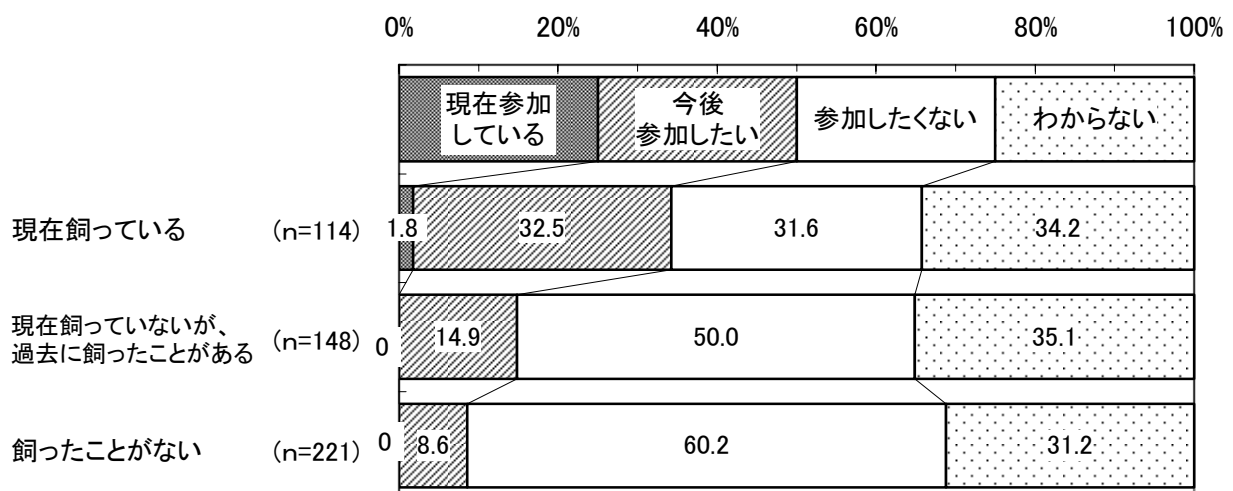


(参考)「飼い主のいない猫」対策とは

「飼い主のいない猫」に関する問題は、猫の糞尿やいたずらによる被害などいろいろあります。この問題の解決には、「飼い主のいない猫」を地域で適正に管理しながら共生していく必要があります。東京都では、平成13年から平成15年の3年間に、20箇所のモデル地域を指定して、「飼い主のいない猫との共生モデルプラン」を実施しました。その結果を踏まえて、「飼い主のいない猫」との共生をめざす街ガイドブックをまとめました。

具体的には、「飼い主のいない猫」に対して不妊去勢手術を施し、これ以上猫が増えないようにした上で、適切にエサを与え、食べ残しや糞の掃除をして管理していくというものです。それらの作業を地域が主体となって、行政・ボランティア団体等と連携して実施していくことが問題の解決には必要です。

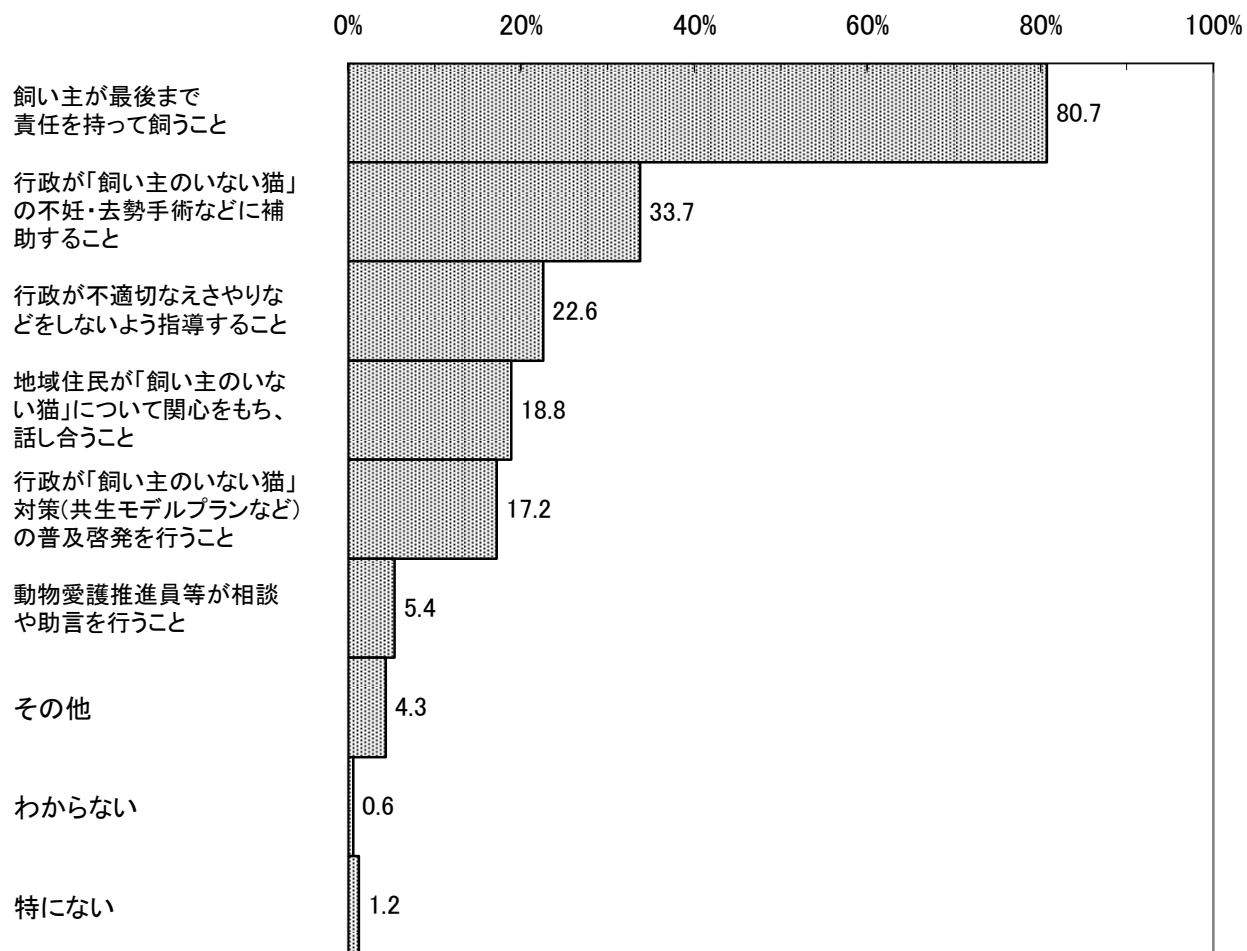
<「飼い主がいない猫」対策への参加意向・・・ペットの飼育状況別>



「飼い主のいない猫」問題の解決策

Q 1 0 「飼い主のいない猫」の問題を解決するには、あなたは、何が重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

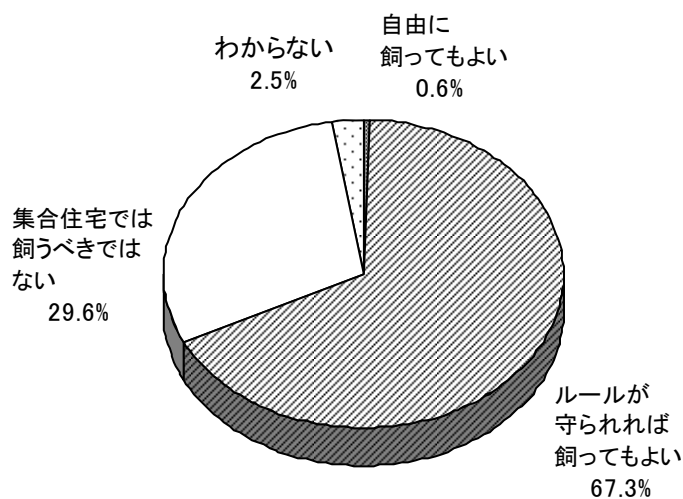
(2MA) (n = 483)



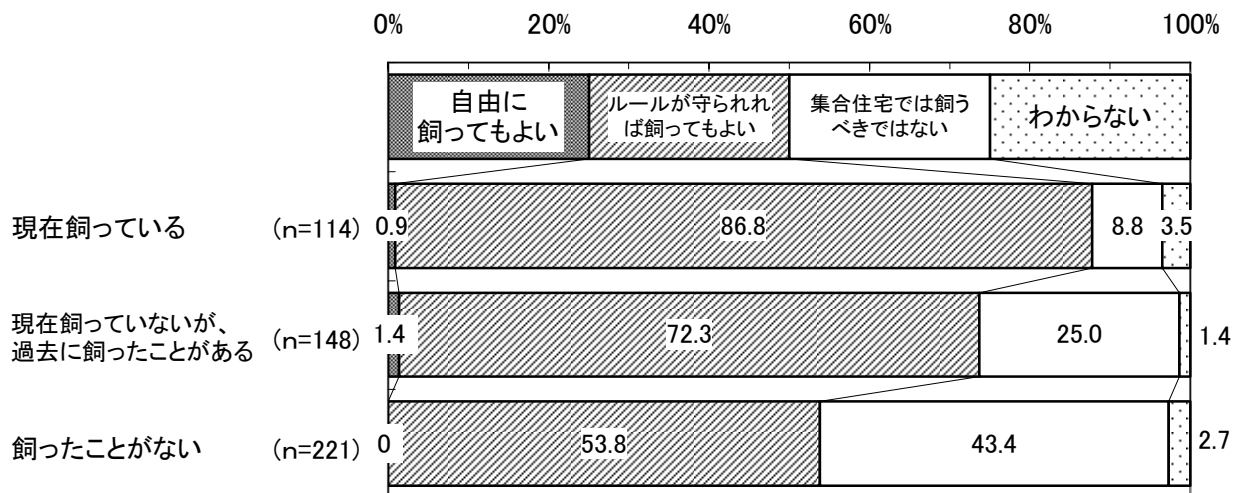
集合住宅におけるペット飼育の是非

Q11 集合住宅でのペット飼育についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 483)



<集合住宅でのペットの飼育・・・ペットの飼育状況別>

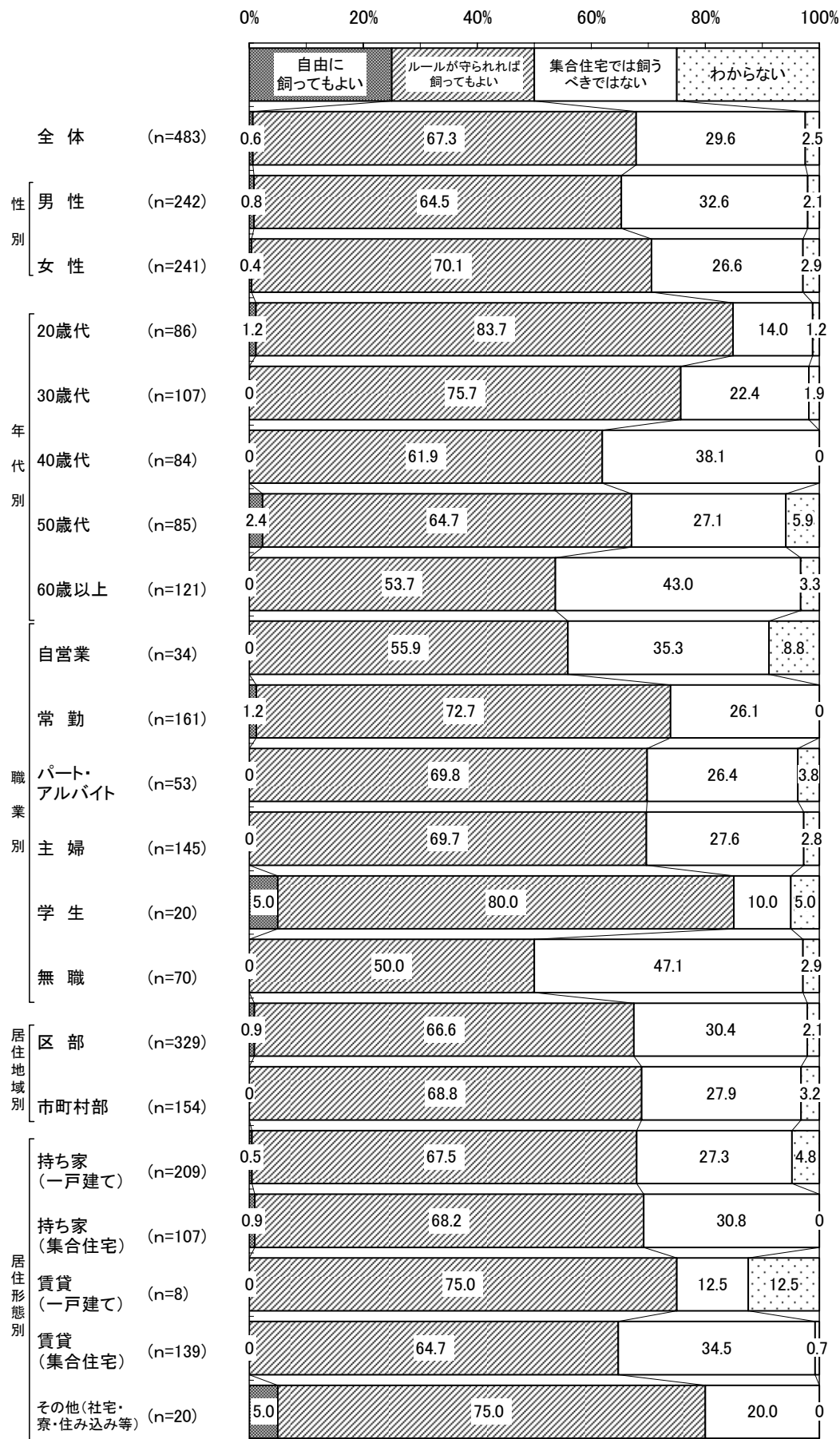


(参考) 平成12年度都政モニターアンケート「ペットの飼育について」 (n = 474)

問2 集合住宅におけるペット飼育の是非

- ・自由に飼ってよい 4.6%
- ・条件付きであれば飼ってもよい 74.3%
- ・飼わないほうがよい 20.9%
- ・無回答 0.2%

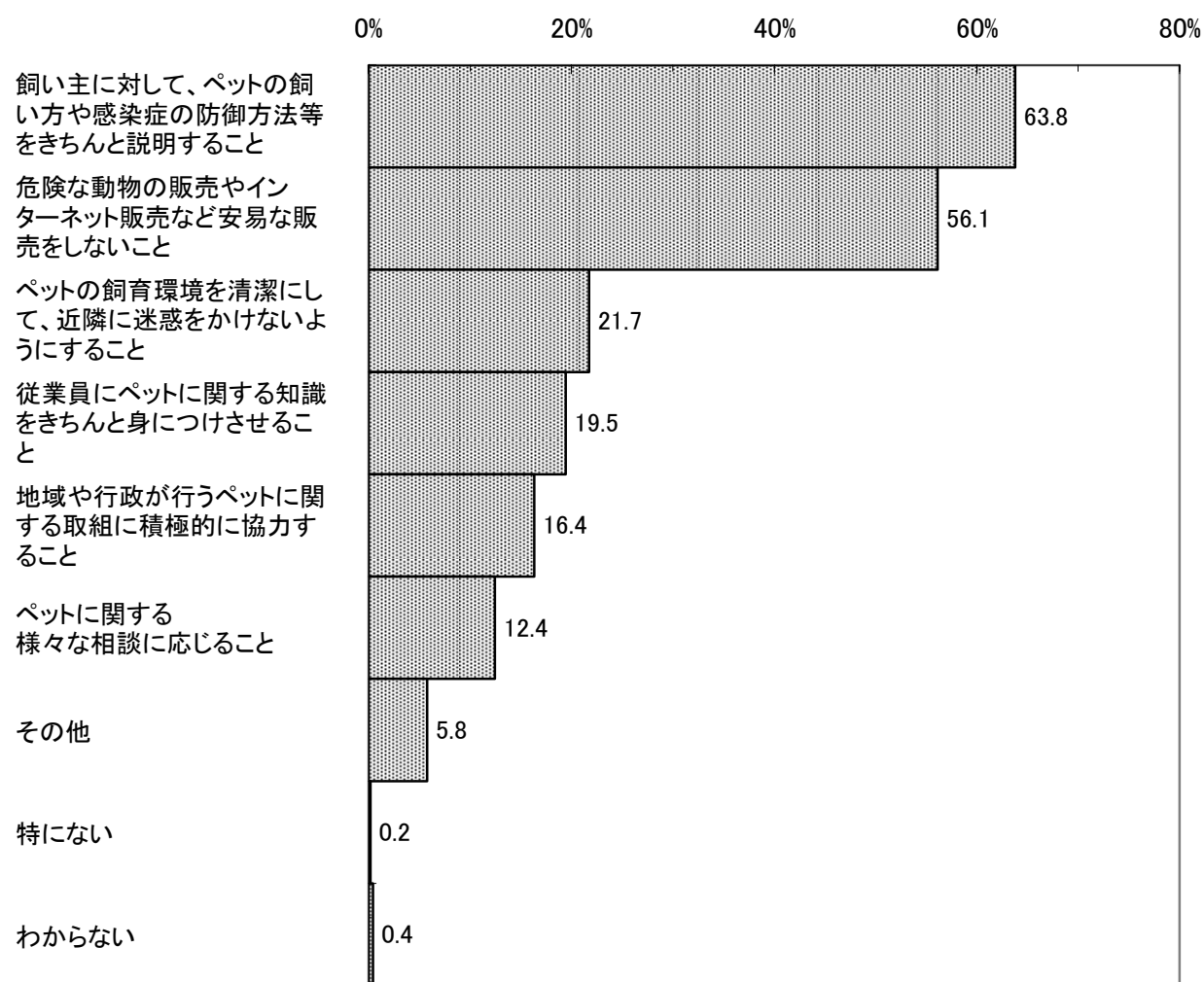
<集合住宅でのペットの飼育・・・属性別>



ペット業者に望むこと

Q 1 2 いわゆるペットブームの中で、ペットショップなど東京における動物取引業者(ペット業者)の登録件数は、年々増加の一途をたどっています。その一方で、ペット業者に対する多くの苦情が都の窓口に寄せられています。あなたは、ペットに関する問題に対処するため、ペット業者にどのようなことを望みますか。次の中から2つまで選んでください。

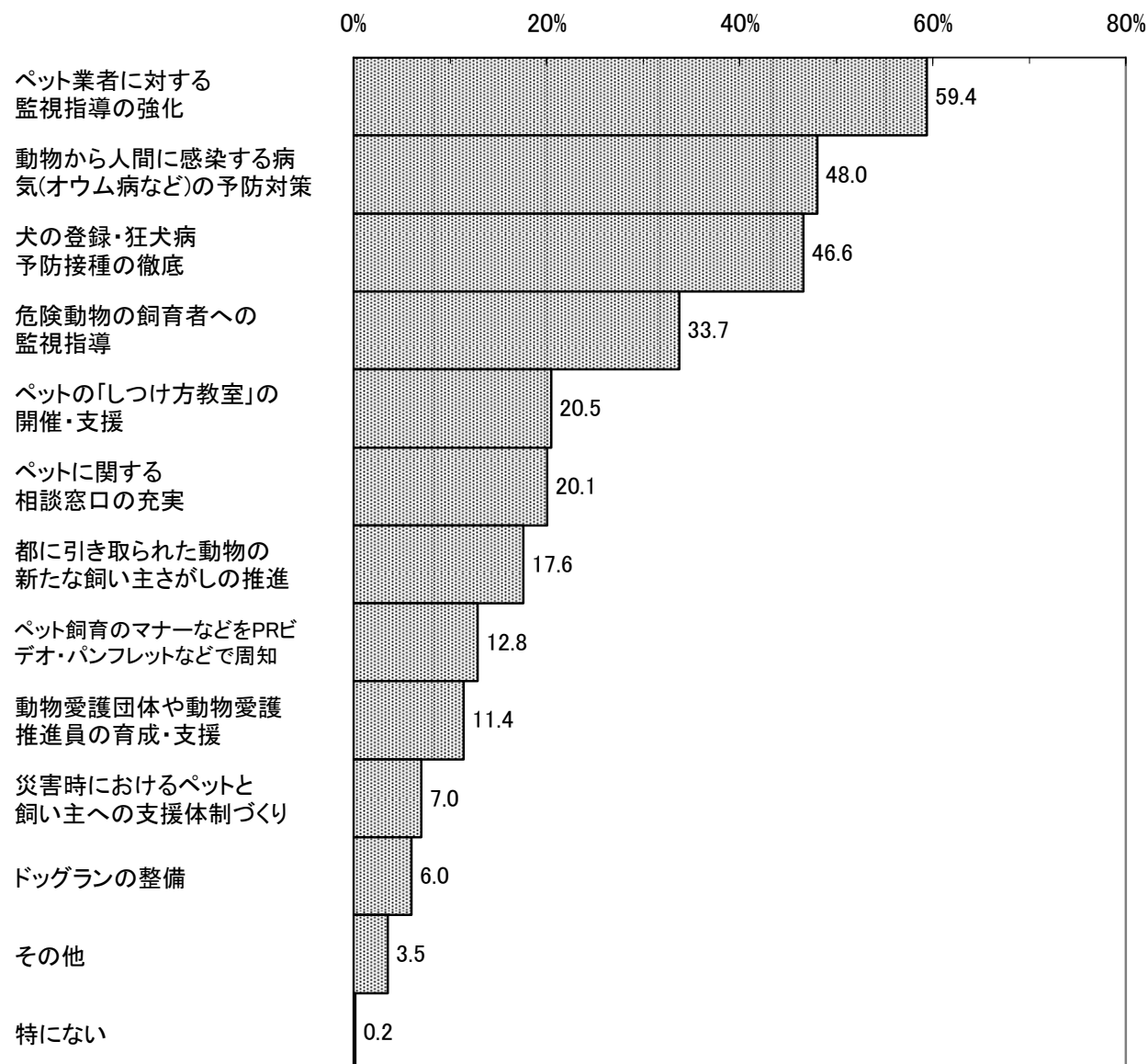
(2MA) (n = 483)



都が取り組むべきペット対策

Q 1 3 ペットの適正な飼育や動物愛護のために、東京都は今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n = 483)



東京におけるペットの飼育に関する意見(自由記述)

Q 1 4 東京におけるペットの飼育について、あなたが現在考えていることを自由にお書きください。

(n = 4 2 8)

4 2 8 人のモニターから、合計 4 3 9 件の意見・要望等が寄せられました。

1	飼い主の責任・心構え等に関する意見	1 9 8 件
2	行政に対する意見・要望	1 0 2 件
3	ペット業者に関する意見・要望	3 8 件
4	「飼い主のいない猫」対策に関する意見	3 7 件
5	人と動物の共生に関する意見	3 5 件
6	集合住宅でのペットの飼育に関する意見	1 3 件
7	その他	1 6 件

〈主 な 意 見 例〉

1 飼い主の責任・心構え等に関する意見

- ・最近珍しい爬虫類などが逃げ出したり捨てられたりして、TVなどで報道されることがある。まずは飼い主の意識向上が必要であり、ペット業者や行政がきちんと動物に関する知識や買い方を教えるべきである。
(女性, 20 代, 板橋区)
- ・近所で犬を飼う家が大変多い。散歩の時、自由に伸び縮みするリードを使用している人がいる。これは危険なので、固定式のリードを使ってほしい。
(女性, 20 代, 府中市)
- ・犬を飼う場合は、飼い主にしつけ方教室に参加することを義務づけるなどの決まりごとが必要だ。
(女性, 30 代, 江戸川区)
- ・近隣を始め、他に迷惑をかけないことがペットを飼う大前提なので、そのことを理解し、実行できる人だけが、飼う資格がある人だと思う。
(男性, 40 代, 足立区)
- ・10 歳未満の子供の人数より、ペットの飼育数の方が多いというのには驚いた。そしてペットを手放す理由が自分勝手なものばかりで悲しくなる。飼い主は子供を育てるのと同じに、ペットを一生責任を持って育ててほしい。
(女性, 40 代, 八王子市)
- ・飼い主はあまりにも安易にペットを飼いすぎる。必要なくなると簡単に捨ててしまう。ペットはアニマルパートナーだという感覚を持たなければいけないのではないか。
(男性, 40 代, 東村山市)
- ・ペット問題は、飼い主に問題がある。最後まで、我が子のようにしつけ、世話、後始末に責任を持つべき。
(男性, 50 代, 世田谷区)
- ・犬を散歩させている時のマナーの欠如が目につく。小さなスコップで見えないところに糞をおくなど片付けない、糞をする時になると放してしまう。マナーを守れないなら飼育してほしくないと思う。
(男性, 60 歳以上, 東久留米市)

2 行政に対する意見・要望

- ・危険動物の規制を一層、厳しくしてほしい。(女性, 20 代, 世田谷区)
- ・東京都はペットに対して課税を行うべきだ。その目的は、致死処分や飼養放棄に対して警鐘を鳴らし、これを抑制するためである。(男性, 20 代, 練馬区)
- ・税金を使ってペット対策を行うのは正直税金の無駄遣いと思う。(男性, 30 代, 練馬区)
- ・核家族化が進み、ペットを飼う人が増えるのは理解できる。行政には、ペットを飼う際のルールとそれを破る場合のペナルティを明確に周知し、責任ある飼育を促してほしい。(男性, 30 代, 調布市)
- ・ペットをこれから飼う人に向け、飼育方法の情報をもっと提供すること。(男性, 30 代, 調布市)
- ・狂犬病の注射の徹底を図ってほしい。(女性, 40 代, 町田市)
- ・以前犬を飼っていた。とても元気の良い犬で、一日 2 回の散歩も猛ダッシュで、飼い主はとても大変だった。ドッグランの公園が近くにあったらいいと思っていた。(女性, 50 代, 杉並区)

3 ペット業者に関する意見・要望

- ・動物を販売する店が安易に出店できる状況があり、知識のない店員が販売していることに問題がある。販売店の規制強化をしなければ、問題は改善されない。(男性, 20 代, 大田区)
- ・悪質な動物販売業者への立入検査を実施し、動物販売の免許をみだりに与えないことが必要。(女性, 30 代, 江戸川区)
- ・犬のペット業者があまりに早く親から子を引き離し商品とするため、社会化できない犬が多いようで、いわゆる問題犬に育ってしまう原因の一つだと思う。これからは、欧米並みに犬をしつけなければならないのではないか。(女性, 40 代, 府中市)

4 「飼い主のいない猫」対策に関する意見

- ・飼い主のいない猫が街のあちこちで見られ、それもほほえましい街の風景だと思うが、むやみに増えるのも問題なので、去勢・不妊手術の費用は都から補助してほしい。(女性, 30 代, 江戸川区)
- ・飼い主のいない猫が大変多く、糞尿で大変迷惑している。第一義的には飼い主の問題だが、野良猫をなくすよう、行政でも取り組んでほしい。(男性, 40 代, 豊島区)
- ・「飼い主のいない猫」との共生は必要悪に近い。基本は「飼い主のいない猫」を発生させないシステムを作ることだと思う。やり方は違うが、野良犬を発生させないシステムは既にできているので、猫でもできるはずである。(男性, 60 歳以上, 八丈町)

5 人と動物の共生に関する意見

- ・私はペットを飼っていないので、飼い主のいない動物についての問題意識は低かった。今回のアンケートを通して、大切な命を守るため、動物を飼っている人だけでなく、飼っていない人の協力も必要だと思った。自分もできることがあればしたいと思うようになった。(女性, 20 代, 大田区)
- ・少子高齢化により、老人が孤独になり生きる術を失ったり、子供たちが「生きるもの」の死などを経験しないまま成長してしまうことで、短絡的な犯罪が増加する昨今、ペットを飼うことでプラスになることは確かにあると思う。(女性, 40 代, 品川区)
- ・犬と人の関係、猫と人の関係は有史以来、切っても切れない関係にある。現代でもペットとして、人生を豊かにしてくれる存在でもある。そのかけがえのない意義を認めて、ペットのあり方を考えることが重要である。(男性, 50 代, 足立区)

6 集合住宅でのペットの飼育に関する意見

- ・私の住んでいるマンションではペットは飼えないことになっているが、引っ越してくる人は、捨てられないということで、黙認されている。これが悪例になって 20%の人が飼っている。泣き声などで迷惑しているが、容認している。しかし、蛇やワニなどは集合住宅で飼うべきでない。

(男性, 60 歳以上, 渋谷区)

7 その他

- ・ペットうんぬんの話でなく、常識の欠如が最近のトラブルの原因である。人間が壊れているので、根本的には人間の教育が必要である。
(男性, 30 代, 江戸川区)
- ・最近のペットブームや贅沢なペット食品などを見るにつけ、貧困で苦しんでいる子供たちのことを考えてしまう。そんなに日本は裕福なのか？
(女性, 60 歳以上, 三鷹市)